

第 376 回 狛江市行財政改革推進本部会議 会議録

- 1 日 時 令和 3 年 6 月 15 日（火）午前 11 時 00 分～11 時 12 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 松原市長
副本部長 平林副市長
副本部長 柏原教育長
本部員 高橋企画財政部長
本部員 石橋総務部長
本部員 鈴木市民生活部長
本部員 小川福祉保健部長
本部員 片岡子ども家庭部長
本部員 門井環境部長
本部員 小俣都市建設部長
本部員 小川議会事務局長
本部員 上田教育部長
事務局 富田政策室長
五十嶺企画調整担当主任
猪野企画調整担当主事
- 4 欠席者
- 5 議 題 1. 狛江市前期基本計画推進プラン 令和 2 年度進捗状況報告書（案）について
2. 狛江市第 6 次行財政改革推進計画 令和 2 年度進捗管理報告書（案）について
3. 狛江市のペーパーレスに関する取組の基本的方針（案）について
4. その他

6 会議概要

本部長 それでは、議題 1 「狛江市前期基本計画推進プラン 令和 2 年度進捗状況報告書（案）について」説明をお願いします。

事務局 前回の行財政改革推進本部会議（以下、「会議」という。）からの主な変更点を説明する。

8 ページからの狛江市前期基本計画（以下、「基本計画」という。）に掲げる指標の推移について、11 ページの「まちの姿 5 施策 5-① 指標 1 福祉のまちづくり委員会の設置数」が、平成 30 年度末時点の数値が 1 だったところ、まちづくり委員会はいまだ設置されていないため、数値を 0 に変更した。

本数値は平成 30 年度末の数値として、基本計画にも掲載されている数値となり、基本計画の指標自体変更となる。また、同 11 ページ「まちの姿 5 施策 5-④ 指標 3 新たに就労した障がい者の人数」についても、本指標はサポート（就労センター）の新規就職者数とそれ以外に福祉施設から一般就労した人数の合計値となっていたが、再度確認したところ、サポート（就労センター）の新規就職者数のみの数値となっていたことから、改めて整理し、数値についてはサポート（就労センター）の新規就職者数のみの数値とし、基本計画に記載されている指標の説明欄を変更する。

この2点の指標の変更については、基本計画の指標自体の変更となり、既に策定済みの基本計画の数値等を変更することとなった。本件については、市ホームページ等を通して修正するとともに、議会にも報告する。

続いて、13ページ「まちの姿7 施策7-③ 指標1及び2」については、前回の会議にて、係数整理中のため、参考値として平成31年度の数値としていたが、令和2年度末の数値が算出されたので、数値を変更した。

同じく、「まちの姿7 施策7-⑤ 指標2 まちづくり協議会等の設置件数」については、まちづくりグループ及びまちづくり協議会の設置件数の合計として6から9へ変更した。

次に、15ページからの「第3章 主要事業の取組」の18ページ「主要事業5 市政情報の発信力強化」について、デジタルサイネージの活用及びこまえ電子図書館にて、狛江市独自資料として公開していることから、その旨を追記した。なお、デジタルサイネージの活用については、20ページの「主要事業9 災害時情報伝達体制の強化」でも再掲として追記している。

続いて、41ページ「主要事業39 生涯に渡って生きて働く力の育成」について、学校におけるICTを活用した学習として、GIGAスクール構想を前倒ししてタブレット配置し、教育活動を進めた旨を追記した。

続いて、42ページ「主要事業41 地域福祉の担い手の発掘・育成」について、福祉のまちづくり委員会の設置に向けた準備をした旨を追記した。

次に、59ページからの「第4章 新型コロナウイルス感染症に伴う取組」の61ページ「No.13 ひとり親世帯臨時特別給付金の実施結果」について、給付世帯数及び給付総額の一部数値を整理し変更した。

主な変更点としては、以上となり、その他数値の整理及び文言修正等を行った。

今回、基本計画の指標の誤りによる、基本計画の修正が発生した。今後の計画策定及び進捗状況報告書の策定については、数値の根拠、計算式等を明らかにし、数値の確認を複数回行う等、再発防止を徹底する。

最後に、今後の予定について、本日の会議及びこの後の庁議で了承いただければ、広報こまえ及び市ホームページで周知するとともに、議会にも報告する。

本部長 質問・意見等なければ、議題1について、本会議として了承とする。

続いて、議題2「狛江市第6次行財政改革推進計画 令和2年度進捗管理報告書（案）について」説明をお願いします。

事務局 前回の会議からの主な変更点について説明する。

5ページの指標の一つ目「質の高い行政運営が行われていると感じている市民の割合」について、再度確認をした。今回実施した市民アンケートでは、該当設問において、回答者の感じていることをより正確に把握するため、選択肢に「わからない」を加えて実施したため、割合が下がったと考えられる。「わからない」と回答した割合は38.7%と最も高く、今後は行政サービスについて、質を高めていくと同時に、より市民に発信していくことも必要であり、「わからない」の回答

割合を下げることも目標達成に必要と考える。

なお、報告書については、指標を設定した際の意識調査と選択肢が異なることから、「わからない」の回答を差し引いた割合を参考値として追記している。

主な変更点といたしましては、以上となるが、その他、細かな文言修正等を行っている。

今後の予定については、本日の会議及びこの後の庁議で了承いただければ、広報こまえ及び市ホームページで周知するとともに、議会にも報告する。

本部長 質問・意見等なければ、議題2について、本会議として了承とする。

続いて、議題3「狛江市のペーパーレスに関する取組の基本的方針（案）について」説明をお願いします。

事務局 狛江市第6次行財政改革推進計画の取組の一つである「ペーパーレス」について、全庁的にペーパーレス化を推進するため、狛江市のペーパーレスの取組に関する基本的方針（案）の審議をお願いします。

1 ページの項目1の目的については、本方針は全庁的にペーパーレスの推進を加速させることのほか、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組の一つとして取り組んでいくことを目的としている。

項目2の主な取組としては、庁内会議で用いる資料や庁内周知の事務連絡、作成した計画等の印刷物、回覧物等について、ペーパーレスを推進するほか、市民からの申請や申込み等についても、行政手続きのオンライン化・デジタル化を踏まえて、検討や電子申請を積極的に活用していくことを記載している。

資料2 ページ項目3について、前回の会議で参考資料として示した「ペーパーレス化に関する調査」については、今後も定期的実施し、結果を庁内へ周知することにより、市職員のペーパーレス化への意識向上を図っていく。

当方針については、本日の会議で審議し、了承いただければ、庁内に周知する。

本部長 質問・意見等なければ、議題3について、本会議として了承とする。

その他なければ、第376回狛江市行財政改革推進本部会議を終了する。